アルカリイオン整水器

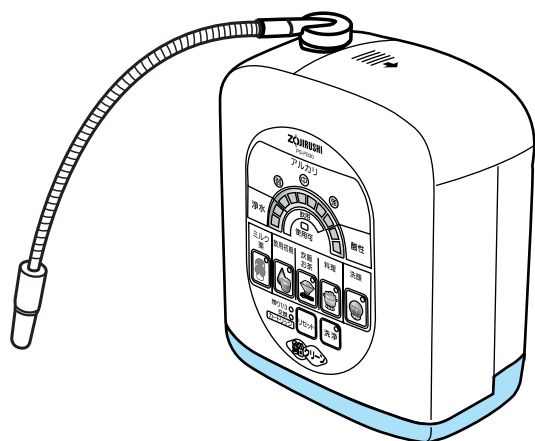
ピュアバランス

# 型名 PS-FB30 取扱説明書

このたびは、「アルカリイオン整水器」ピュアバランスをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用になる前に、2～6ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 「取扱説明書」はお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保存してください。
- 地域・水質によっては、目やすのpH値が得られないことがあります。特に地下水を水源とした地域では、設置後必ずpH測定液で測定してください。
- 正しい取りつけ、および正しく使用されなかった場合の本品の故障や事故、および傷害や病気については、弊社は責任を負いませんので、取りつけ方やご使用方法にはご注意ください。
- 本器は医療用物質生成器として厚生労働省の認可を受けています。

（医療用具承認番号 21300BZZ00088000）

# アルカリイオン整水器のしくみ

■本器は水道水をろ過して浄水にし、電気分解することによって、アルカリイオン水および酸性水を生成する装置です。

### ■ ろ過のしくみ

水道水

遊離残留塩素
カビ臭
総トリハロメタン
溶解性鉛
赤サビ
雑菌
ミネラル

繊維状活性炭　イオン交換樹脂　中空糸膜　ミネラル　浄水

アルカリイオン水
酸性水・浄水

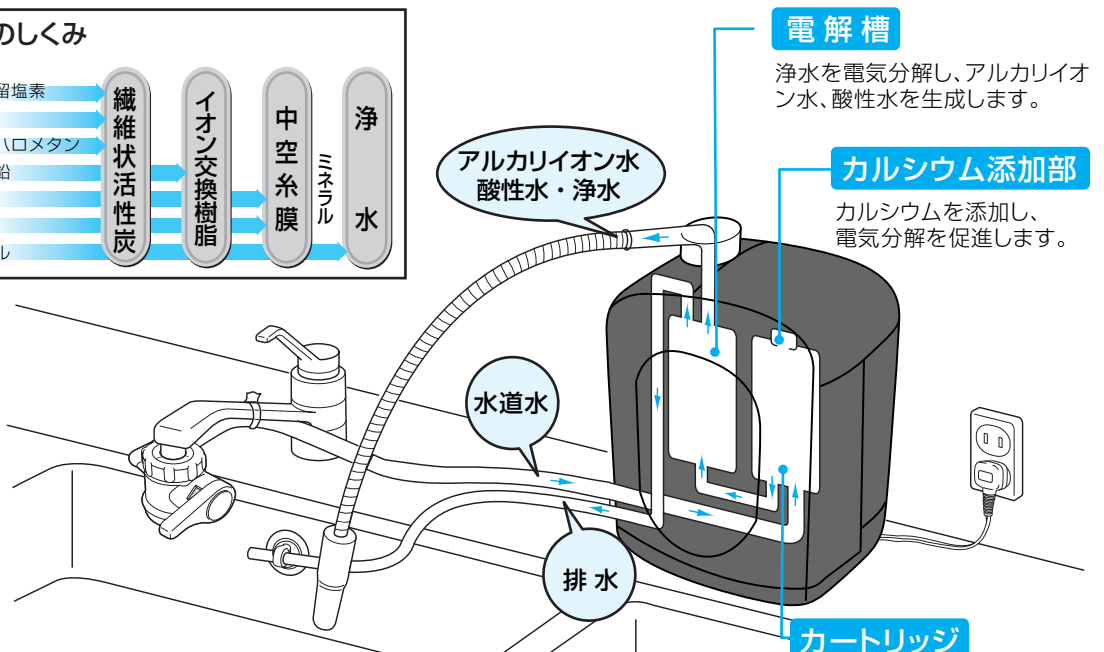
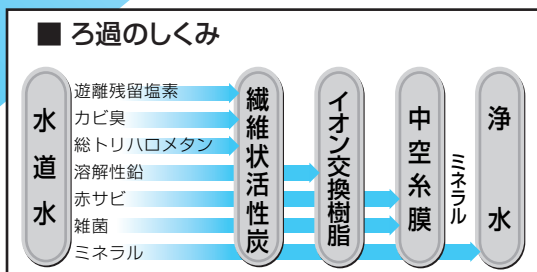
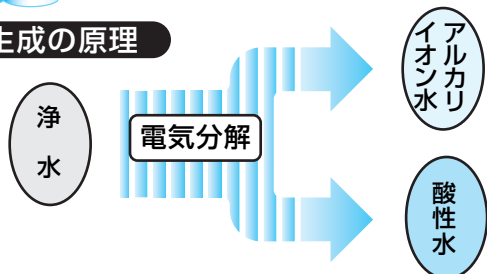
水道水

排 水

**電 解 槽**
浄水を電気分解し、アルカリイオン水、酸性水を生成します。

**カルシウム添加部**
カルシウムを添加し、電気分解を促進します。

**カートリッジ**
微細なにごり、においを除去し、おいしい水（浄水）をつくります。

**ご 注 意**
開封の際、本体に少量の水が付着していたり、ホースから水が出ることがありますが、出荷検査に使用した水ですので異常ではありません。

**生成の原理**

■カートリッジでろ過された浄水を電気分解し、アルカリイオン水と酸性水を生成します。

**メモ2**
本器は医療用物質生成器として厚生労働省の認可を受けており、下記の効能･効果が認められています。

## 生成水の効能・効果

### アルカリイオン水

飲用として ☆**慢性下痢**　☆**消化不良**　☆**胃腸内異常発酵**
☆**胃酸過多**　☆**制酸**　に有効です。

### 酸　性　水

アストリンゼント（化粧水）として美容に用いられます。（飲用はできません。）

※排水ホースから出る水は飲まないでください。

**メモ3**
●**原水とは‥‥**
水道水そのままの水
●**浄水とは‥‥**
本器を通して、ろ過された水。電気分解されていません。
●**pH（イオン濃度）とは‥‥**
「アルカリイオン水」「酸性水」のアルカリ性、酸性の強さを数値で表したものです。

←酸性―― 中性 ―アルカリ性→
pH 4　5　6　7　8　9　10

●この説明書内の「通水量」および「1日の使用水量」は、生成水パイプ･排水ホースからの水量を合計したものです。

# 安全上のご注意 必ずお守りください



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ 警　告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠ 注　意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。 |

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

| | |
|---|---|
|  禁　止 | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| 強　制 | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

## ⚠ 警　告

**●本器で生成したアルカリイオン水を飲用するときは、次のことに注意する**

●医薬品をアルカリイオン水で服用しないこと。
●無酸症の人は、アルカリイオン水を飲用しないこと。
●飲用して身体に異常を感じたとき、またはアルカリイオン水を飲用し続けても症状に改善がみられない場合には、医師または薬剤師に相談してください。

**●アルカリイオン水を使用して身体に異常を感じたときはすみやかに使用を中止して医師に相談する**

●体調や体質によりまれに発疹などの症状が出る場合があります。
●効能･効果は人によって異なります。どなたにでも必ず効果があることを保証するものではありません。
●pH10を超えたアルカリイオン水は飲まないでください。
●飲み始めは「アルカリ弱」を少量ずつ飲用してください。

**●次の方は酸性水（アストリンゼント）を使用する前に医師または薬剤師に相談する**

●肌の弱い方
●アレルギー体質の方

**●次の人は使用前に医師、または薬剤師に相談する**

●持病のある人、または身体の弱っている人
●肝臓・腎臓に障害のある人
●医師または歯科医師の治療を受けている人

**●酸性水（アストリンゼント）を使用して肌に異常を感じたときはすみやかに使用を中止して医師に相談する**

**●くみ置きの水、その他水道基準以外の飲用不適な水は使わない**

体調を損なうことがあります。

# 安全上のご注意 必ずお守りください つづき

## ⚠警 告

●次のような水は絶対飲まない

- ●酸性水
- ●排水ホースから出る水
- ●洗浄中に生成水パイプから出る水
- ●pH10を超えた水

体調を損なう原因になることがあります。

●本器に異常がある場合は、すぐに差込みプラグを抜き、点検修理をご依頼ください。

感電や漏電、ショートによる火災の原因になります。

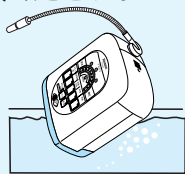
●アルカリイオン水を初めて飲む方は、「アルカリ弱」から少量ずつ飲用し、体調に応じて「アルカリ中」または「アルカリ強」で飲む

体調を損なうことがあります。

●アルカリイオン水使用中に排水ホースから出る酸性水はアストリンゼント（化粧水）として使用しない

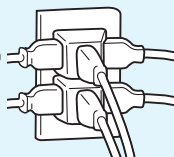
使用すると肌に異常を感じることがあります。

- ●ためて洗い物などに使用してください。
- ●アストリンゼントには「酸性」を押して生成水パイプから出る弱酸性水をお使いください。

●本体を誤って水中に落としたときは、感電の原因になりますので、
（1）差込みプラグをコンセントから抜き、
（2）本体を引き上げ、
（3）修理をご依頼ください。

●電源コード・差込みプラグを破損するようなことはしない

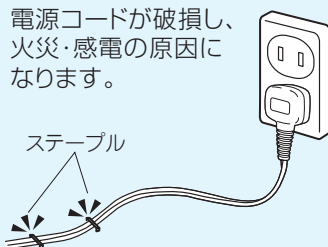
- ・傷つける・加工する
- ・熱器具に近づける・無理に曲げる
- ・ねじる・引っ張る・重い物を載せる
- ・束ねる・はさみ込むなど

破損したコードを使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V、周波数50-60Hz以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

●電源コードをステープルなどで固定しない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

## ⚠警　告

●**差込みプラグはコンセントに根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●**差込みプラグの差し込み部分にほこりなどがついた場合は、差込みプラグを抜いて取り除く**

ほこりなどがたまると、火災の原因になります。

●**改造はしない。修理はお買い上げの販売店または弊社のご相談窓口にご相談ください。**

分解禁止

火災・感電やけがの原因になります。

●**ぬれた手で差込みプラグの抜き差しをしない**

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

●**お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜く**

差込みプラグを抜く

感電の原因になります。

## ⚠注　意

●**本体を不安定な場所に設 置しない**

禁　止

落ちたり倒れたりし、けがの原因になることがあります。

●**ホースは確実に接続する**

水もれの原因になります。

●接続方法は19ページを参照してください。

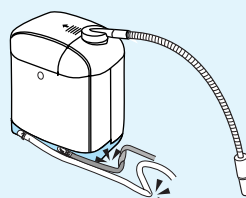
●**本体に水をかけたり、洗ったりしない**

禁　止

漏電・感電の原因になることがあります。

●お手入れは27ページを参照してください。

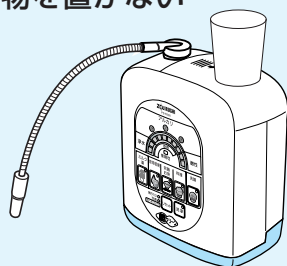
●**水の出口をふさいだり、ホースを折り曲げたり、ねじったり、つぶしたりしない**

禁　止

水もれや目やすのpH値の水が出なくなる原因、または故障の原因になることがあります。

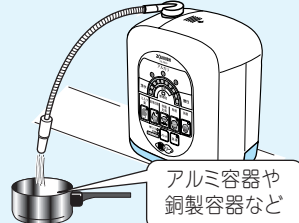
# 安全上のご注意 つづき

## ⚠注　意

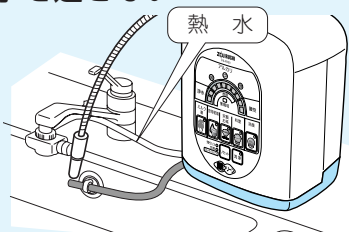
**●本体の上に物を置かない**

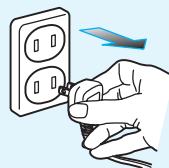
禁　止

落下して、けがの原因になることがあります。

**●アルカリに弱いアルミ製容器や酸に弱い銅製容器などは使用しない**

禁　止

容器が変色したり、傷むことがあります。

**●本体に熱水を通さない**

禁　止

本体には35℃以上の熱水を通さないでください。故障や、やけどの原因になることがあります。

**●差込みプラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く**

コードを引っ張ると、接続部が破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

**●前回使用した際に本体やホース内に残ってしまった水を使わないために、毎回使い始めの水は捨て流す**

本体表示部の「使用可」ランプが点灯するまで流した後の水をお使いください。

**●pH測定液や測定液の入った水は、飲んだり目に入れたりしない（特にお子さまにはご注意ください）**

体調を損なうことがあります。

禁　止

- もし誤って飲用した場合は水を大量に飲み、目に入った場合は十分に水洗いし、医師に相談してください。
- pH測定液は必ずフタをして乳幼児の手の届かないところに保管してください。

**●くみ置きしたアルカリイオン水や浄水は飲まない**

禁　止

- 殺菌剤（塩素など）が除去されているため、水が変質し、体調を損なうことがあります。

冷蔵庫で保存する場合は2日以内にお飲みください。

**●pH測定液は、火気に近づけない**

火気禁止

引火し、火災の原因になることがあります。

# ⚠注　意

●アルカリイオン水や酸性水、浄水を魚などの飼育水に使用しない

環境がかわり、魚などが死ぬ原因になることがあります。

●pH測定液を衣服や台所のカウンターなどにこぼさないように注意する

シミになります。こぼしたときは、できるだけ早く水洗いしてください。

●操作パネルを鋭利なもので操作しない

破損の原因になります。

●指定のカルシウム以外のものは入れない

故障の原因になったり体調を損なうことがあります。

●付属品または別売品をお使いください。

●長期間ご使用にならないときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電や漏電･火災の原因になります。

●長期間使用しないで、再使用する場合は、正常に作動するか確認する

正常に作動しないときはお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

# 必ずお守りください

● **水道工事などで水の濁りがひどいときは本器を使用しないでください。**

切換コック内のメッシュなどが目づまりをおこします。万一、目づまりをおこしたときは、お手入れしてください。(→27ページ参照)

● **カートリッジ、カートリッジ押さえ、カルシウムキャップをはずしたままで通水しないでください。**

はずしたままでご使用になりますと、本体から水があふれ故障の原因になります。

● **カートリッジの交換、カルシウムの添加は定期的に行ってください。**

(→21·31ページ参照)

● **アルカリイオン水をアルミニウム製の器具で使う場合は、腐食したり、ひどい時は穴が開いたりすることがあります。**

イオン水(アルカリ、酸性)の調理、加熱にはステンレス、ガラス、陶器、ほうろう製を使用し、イオン水の保存にはこれらの他にプラスチック製の容器をご利用ください。

● **アルカリイオン水を直接飲用する場合・・・**

目やすとして一日500〜600㎖を2〜3回に分けて飲用してください。

● **寒冷地で水道が凍結する時期は・・・**

夜間、切換コックから原水ホースをはずし、本体をタオルなどで保温するか、あるいは、暖かい場所に移動させて凍結を防止してください。(→29ページ参照)

● **次のような水は通水しないでください。故障の原因になることがあります。**

- 濁りのひどい水
- 硬度の高い水
- 赤さびの多い水
- 塩分の多い水

● **次のような場所には設置しないでください。故障の原因になることがあります。**

- 火を使用しているところ、その他高温部(60℃以上)の近く
- 直射日光のあたるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 水のかかりやすいところ

● **濃度の高いアルカリイオン水を飲用した場合、まれに下痢や便秘をしたり、湿疹が出たりすることがあります。**

このようなときには、一時アルカリイオン水の飲用を中止し、医師または薬剤師に相談してください。

● **「洗浄ランプ」が点滅したら**

必ず水を流しながら洗浄ボタンを押してください。(→28ページ参照)

● **本体を落としたり強い衝撃を与えないでください。**

故障または破損の原因になります。

● **アルカリイオン水または酸性水を連続して10分以上生成しないでください。**

10分以上使用すると、機器保護のため電気分解を中止して自動的に「ミルク·薬」(浄水)モードにかわり、生成水パイプから浄水が出てきます。

● **地域·水質によっては、目やすのpH値が得られないことがあります。**

特に地下水を水源とした地域では設置後、必ずpH測定液で測定してください。

● **水の硬度が高い地域で使用するときは、1日1回、酸性水を約1分間通水してください。**

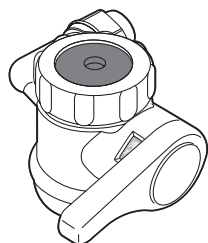
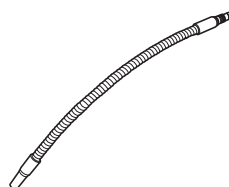
硬度が高いと、やかんなどの容器に白い粉(カルシウム)が付着します。

# 各部のなまえとはたらき



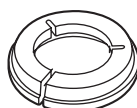
## 付　属　品

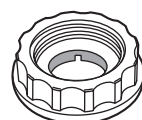
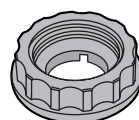
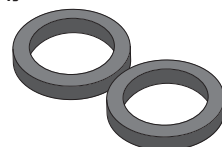
ご使用の前に、次の付属品をお確かめください。

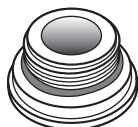
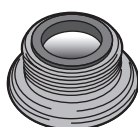
### 切換コック

### 生成水パイプ

### 切換コック取りつけ用付属品（アダプターセット）

〈Aセット〉　丸型パイプ用

16mm

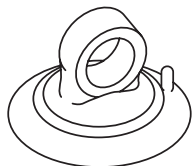
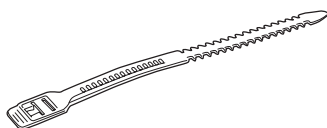
17.5mm

19mm

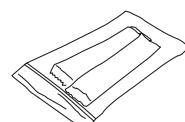
〈Bセット〉　泡沫水栓・外ネジ用

白

グレー

パッキン（×2）

〈Cセット〉　泡沫水栓・内ネジ用

白（Oリング付き）

グレー（パッキン付き）

〈Dセット〉　ビス止め蛇口用

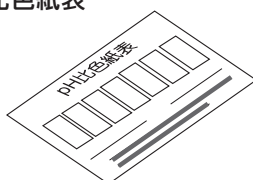
### ホース固定用付属品

排水ホース固定用吸盤

原水ホース固定バンド

### 消　耗　品

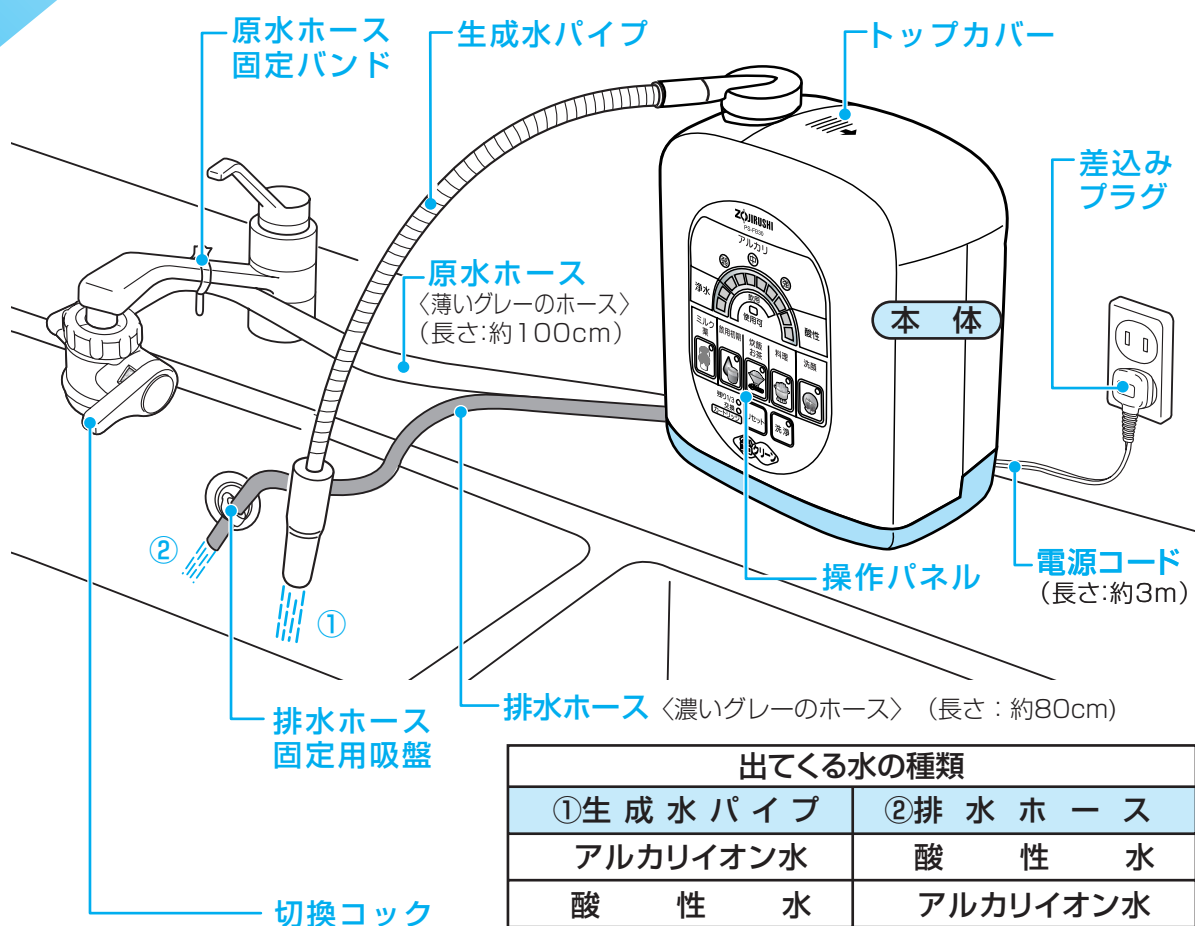
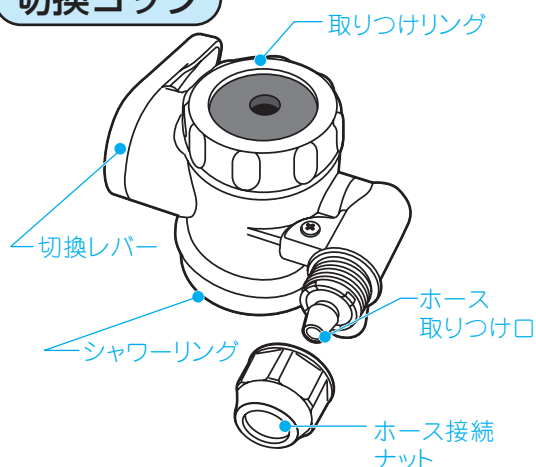
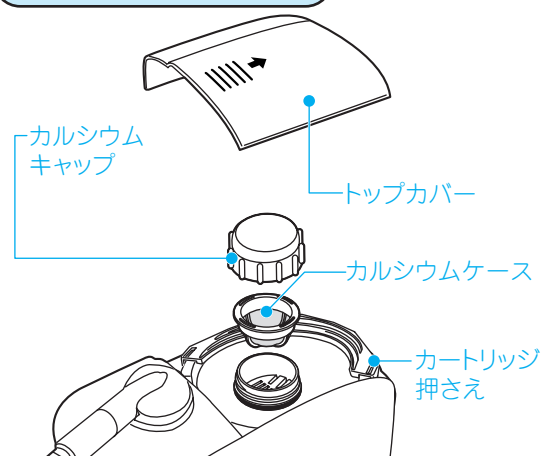
カルシウム（3g入り×2本）

※カルシウムとは指定のグリセロリン酸カルシウムのことです。

### pH測定用品

pH測定液10mℓ

pH比色紙表

専用容器

# 各部のなまえとはたらき つづき

## 本　　体

原水ホース
固定バンド

生成水パイプ

トップカバー

差込み
プラグ

原水ホース
〈薄いグレーのホース〉
（長さ:約100cm）

本　体

操作パネル

電源コード
（長さ:約3m）

②

①

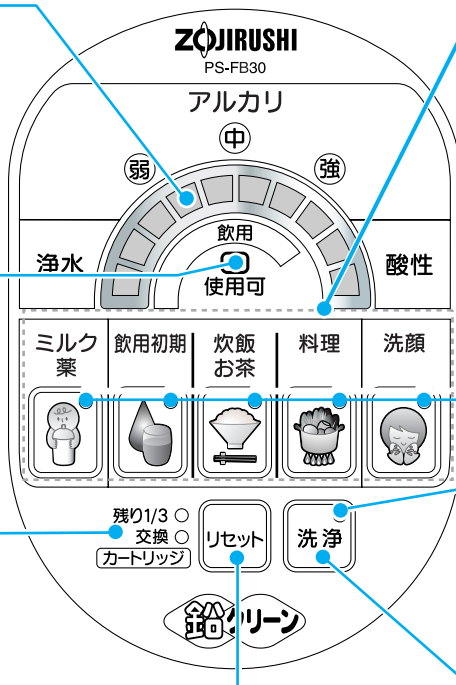
排水ホース
固定用吸盤

排水ホース 〈濃いグレーのホース〉（長さ：約80cm）

切換コック

| 出てくる水の種類 | |
|---|---|
| ①生成水パイプ | ②排水ホース |
| アルカリイオン水 | 酸性水 |
| 酸性水 | アルカリイオン水 |
| 浄水 | 浄水 |

※排水ホースから出る水は飲まないでください。

# 操作パネル

●アルカリイオン水、酸性水のpH値は、地域・水質によっては下記の「pH値の目やす」内に入らないことがあります。これは、水の中に溶けこんでいる炭酸ガスや各種成分の影響によるものです。この場合はpH値を調整してpH測定液で調整後のpH値を確認してください。

| 選択モード | 生成水 | pH値の目やす | 用　　途 |
|---|---|---|---|
| 料理 | アルカリ 強 | 9〜10 | (煮物、鍋物、汁物など) |
| 炊飯・お茶 | アルカリ 中 | 8.5〜9.5 | (飲用、料理など) |
| 飲用初期 | アルカリ 弱 | 8〜9 | (アルカリイオン水を初めて飲むとき) |
| ミルク・薬 | 浄 水 | 原水pH値のまま | (赤ちゃんのミルクや薬を服用するときなど) |
| 洗顔 | 酸 性 | 5〜6.5 | 洗顔後の化粧水として |
| | 排水ホースから出る水 | ----------- | 食器などの洗浄(茶しぶとりや魚料理をしたあとのにおいとり)に。絶対に飲まないでください。pH値が調整されていないため、洗顔やアストリンゼントとしても使用しないでください。 |

# 各部のなまえとはたらき つづき

## 切換コックについて

**使うことのできる水温は右表のとおりです。**
この温度範囲内で使用してください。(故障の原因)

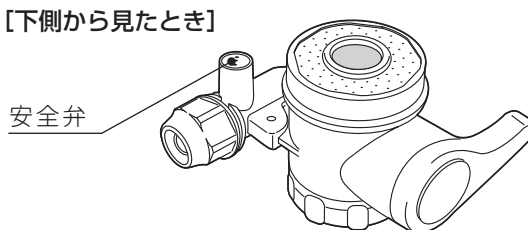
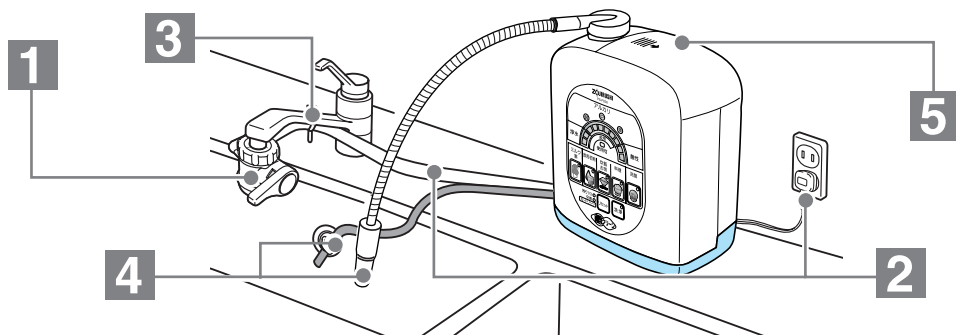
●アルカリイオン水、酸性水、浄水を使用するときは、必ず切換コックのレバーを「浄水」にしてください。

| 切換レバーの位置 | 水　温 |
|---|---|
| 浄　水 | 35℃未満 |
| 原　水 | 60℃未満 |
| シャワー(原水) | |

**使用中、次のような場合は切換コックの「安全弁」から水がでます。**

●水圧が高いところで使用したとき。
●カートリッジや切換コック内のメッシュなどが目づまりしてきたとき。

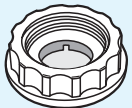
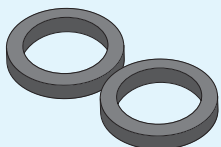
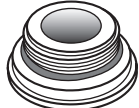
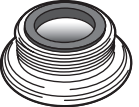
アルカリイオン水、酸性水、浄水を使用中に「安全弁」より水が噴き出します。
→蛇口を絞って使用してください。

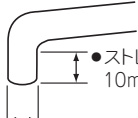
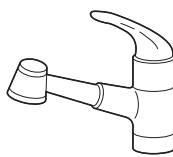
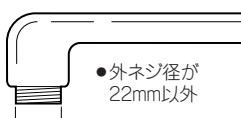
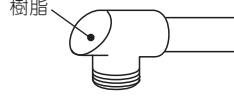
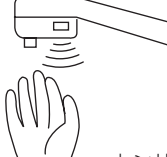
[下側から見たとき]

## 取りつけ手順

**1** 切換コックを蛇口に取りつける
(12～17ページ参照)

**2** 原水ホースと本体を設置し、差込みプラグをコンセントに差し込む
(18～19ページ参照)

**3** 本体の空気抜きのため約2分間通水する
●「使用可」ランプが約2分後に点灯します。
(20ページ参照)

**4** 生成水パイプ、排水ホースから水が出ていることを確認する
(20ページ参照)

**5** カルシウムを添加する
(21ページ参照)

**6** pH値を測定する
(22～23ページ参照)

**使　う** (24～26ページ参照)

# 1 切換コックを蛇口に取りつける

## 切換コック取りつけ用付属品（アダプターセット）の内容

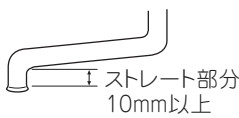
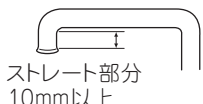
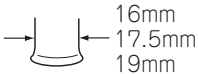
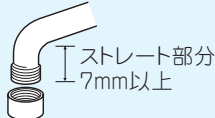
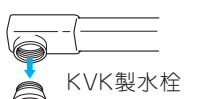
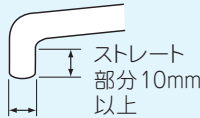
| Aセット（先のふくらんだ丸型パイプ用） | Bセット（泡沫水栓外ネジ（22mm）用） | Cセット（泡沫水栓内ネジ用） | Dセット（その他の蛇口用） |
|---|---|---|---|
| 蛇口リング | 泡沫水栓用アダプター（外ネジ） | 泡沫水栓用アダプター（内ネジ） | ビス止め用固定リング |
| 白　色<br>16mm用 | 白　色<br>22mm用<br>TOTO、INAX製水栓など | 白　色<br>Oリングつき<br>23mm用<br>KVK製水栓など | ネジ・パッキンつき |
| 白　色<br>17.5mm用 | グ　レ　ー<br>22mm用<br>GROHE、MOEN<br>YANMAR製水栓など | グ　レ　ー<br>パッキン1枚つき<br>24mm用<br>GROHE製水栓など | |
| 白　色<br>19mm用 | 共通パッキン2種 | | |

※白とグレーはネジ山の形状が異なります。

### ●取りつけられない蛇口の例

●その他にも、変形水栓や特殊なネジの蛇口、構造が特殊な蛇口（INAX SF･3402S、SF･3335S、その他）がありますのでご注意ください。
●飲用水用以外の蛇口（水栓）には、取りつけないでください。

# 1 切換コックを蛇口に取りつける つづき

## アダプターセットの選択

### 蛇口の確認

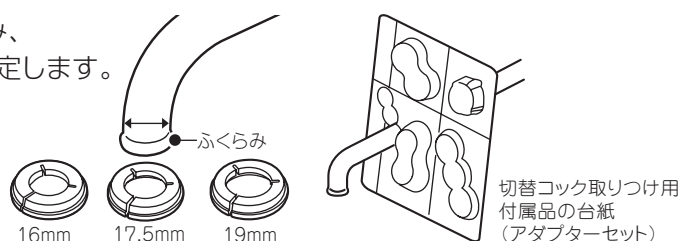
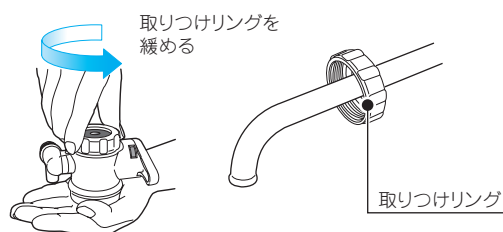
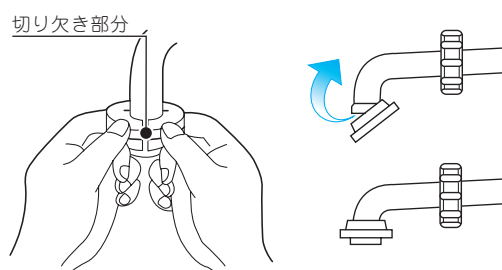
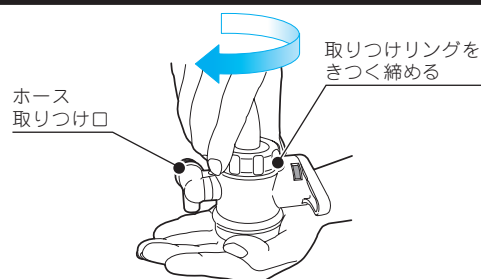
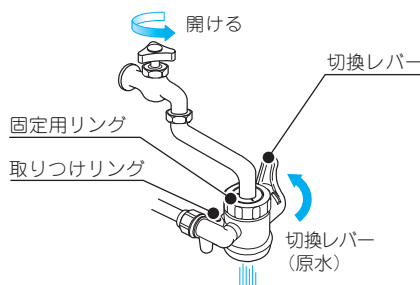
蛇口の形状により、切換コックの取りつけ方法は異なります。蛇口の形状を確認してから、使用するアダプターを選んでください。
使用するアダプターは1種類です。
取りつけに使わないアダプターセットは、蛇口の交換や転居などに備え大切に保管してください。
アダプターセットを使用しても取りつけられない場合は、お買い上げの販売店または、弊社お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

| 蛇口先端 | 先のふくらんだ丸型パイプ | 泡沫水栓 外ネジ | 泡沫水栓 内ネジ | その他の蛇口 |
|---|---|---|---|---|
| 形状 | ストレート部分10mm以上<br>ストレート部分10mm以上<br>16mm<br>17.5mm<br>19mm | 外ネジ径22mm<br>ストレート部分7mm以上<br>YANMAR製水栓<br>(先端の泡沫キャップがはずせる外ネジ式) | 内ネジ径23mmまたは24mm<br>GROHE製水栓<br>KVK製水栓<br>(先端の泡沫キャップがはずせる内ネジ式) | ストレート部分10mm以上<br>直径24mm未満 |
| アダプターセット | Aセットを使用<br>アダプターセットの台紙を使用して、パイプの直径を測定します。 | Bセットを使用<br>●白<br>TOTO、INAX製水栓など<br>●グレー<br>GROHE、MOEN、YANMAR製水栓など | Cセットを使用<br>●白<br>KVK製水栓など<br>●グレー<br>GROHE製水栓など | Dセットを使用<br>●外径16mm、17.5mm、19mm以外の先のふくらんだ丸形パイプ |
| | 14ページをご覧ください。 | 15ページをご覧ください。 | 16ページをご覧ください。 | 17ページをご覧ください。 |

# 1 切換コックを蛇口に取りつける

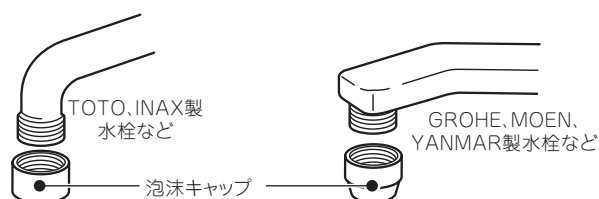
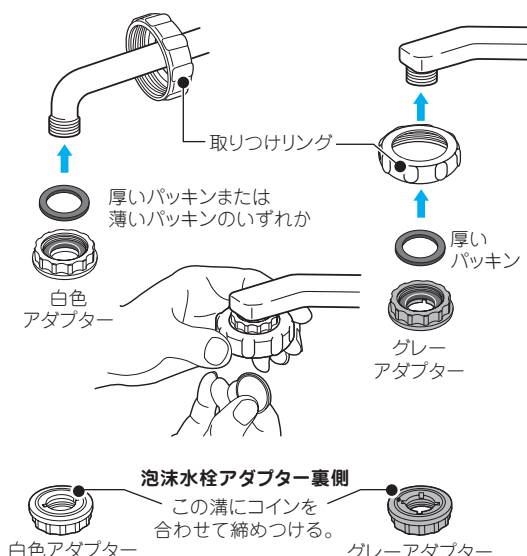
## Aセットの取りつけ方



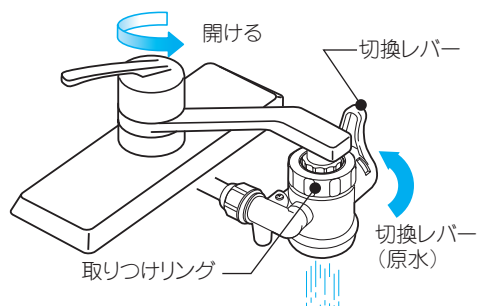
1 アダプターセットの台紙をはめ込み、蛇口のふくらみの上部の直径を測定します。

2 切換コックにセットされている取りつけリングを手でゆるめてはずし、蛇口に通します。

3 蛇口の外径に合わせて「固定用リング」の中から16mm、17.5mmまたは19mmを選んで取りつけます。
**図のように、切り欠き部分を手前にし、**後ろから斜めに当てて、手前を持ち上げてはめ込みます。はめ込んだ「固定用リング」は蛇口のふくらんだ部分まで押し下げておきます。

4 切換コック本体のゴムパッキン部分を蛇口に水平に当て、取りつけリングを回してしっかり固定します。このとき、ホース取りつけ口が図のように蛇口の後方にくるように固定してください。

5 切換レバーを「原水」にし、蛇口を開け水を流します。水を流したとき、取りつけリング部分からもれるようでしたら、もう一度取りつけリングをゆるめて固定しなおしてください。

※Aセットを使用してうまく取りつけられない場合は、Dセットをご使用ください。（17ページ参照）

# 1 切換コックを蛇口に取りつける つづき

## Bセットの取りつけ方

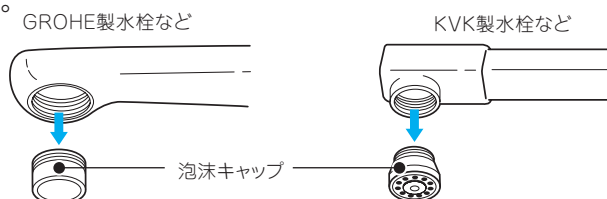
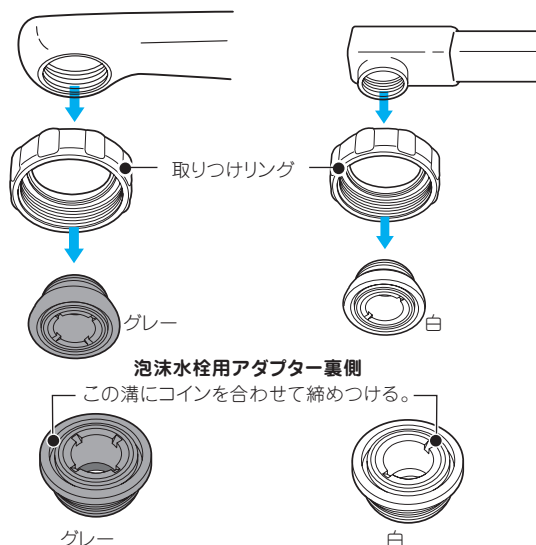
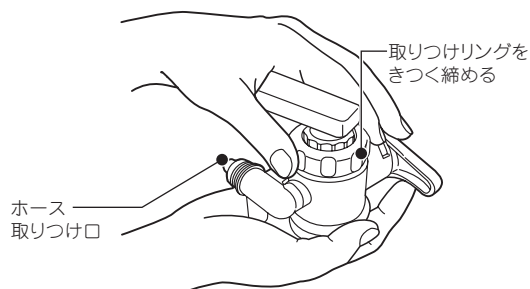
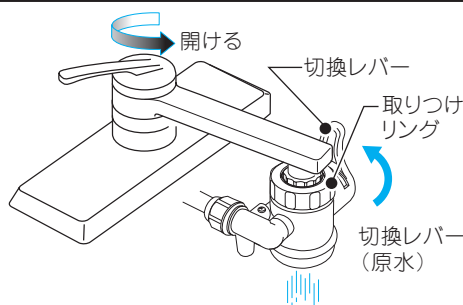
1 蛇口先端の泡沫キャップをはずします。

2 切換コックにセットされている取りつけリングをはずします。「泡沫水栓用アダプター」に付属のパッキンを入れ、図のように取りつけます。
※TOTO製水栓などには白色を、GROHE製水栓などにはグレーをお使いください（ネジ山に合ったアダプターをご使用ください）。
※パッキンは厚いものと薄いものが2種類あります。白色アダプターをご使用の際は、ご自宅の蛇口に合わせて、水もれしないように、いずれかのパッキンを選んでお使いください。
※泡沫水栓アダプターは裏側に溝がありますので、コインなどを利用して確実に締めつけてください。

**泡沫水栓アダプター裏側**
この溝にコインを合わせて締めつける。
白色アダプター
グレーアダプター

3 切換コックのゴムパッキン部分を蛇口に水平に当て、取りつけリングを回してしっかり固定します。このとき、ホース取りつけ口が図のように、蛇口の後方にくるように固定してください。

4 切換レバーを「原水」にし、蛇口を開け水を流します。水を流したとき、取りつけリング部分からもれるようでしたら、もう一度、取りつけリングをゆるめて、最初から固定しなおしてください。
（白色アダプターをご使用の場合は、厚みの違うパッキンをお試しください。）

**ご注意** 蛇口の部分がプラスチック製のものには取りつけられません。

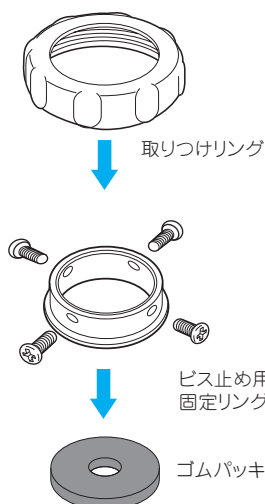
# Cセットの取りつけ方



1 蛇口先端の泡沫キャップをはずします。

2 切換コックにセットされている取りつけリングをはずし「泡沫水栓用アダプター」と共に図のように取りつけます。
※KVK製水栓などには白色、GROHE製水栓などにはグレーをお使いください。（ネジ山の大きさに合ったアダプターをお使いください。）
※泡沫水栓用アダプターは裏側に溝がありますので、コインなどを利用して確実に締めつけてください。

3 切換コックのゴムパッキン部分を蛇口に水平に当て、取りつけリングを回してしっかり固定します。このとき、ホース取りつけ口が図のように、蛇口の後方にくるように固定してください。

4 切換レバーを「原水」にし、蛇口を開け水を流します。水を流したとき、取りつけリング部分からもれるようでしたら、もう一度取りつけリングをゆるめて固定しなおしてください。

ご注意　蛇口の部分がプラスチック製のものには取りつけられません。

# 1 切換コックを蛇口に取りつける つづき

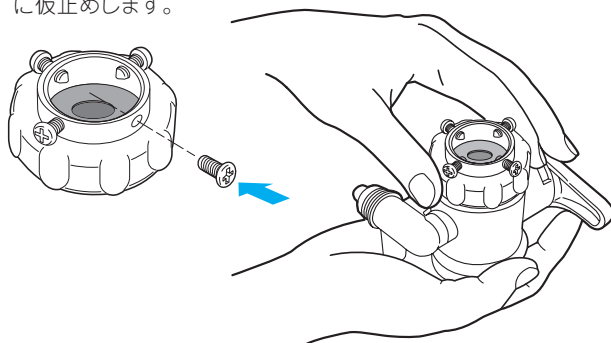
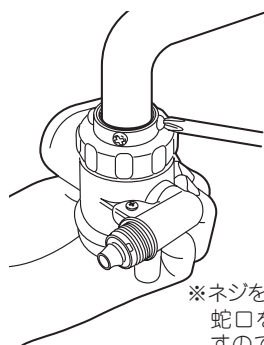
## Dセットの取り方

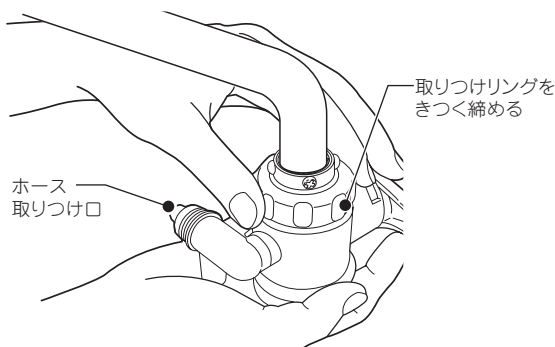
1 切換コックにセットされている取りつけリングをはずします。ビス止め用固定リングのネジ(4本)をはずし、取りつけリングにビス止め用固定リングを入れます。

❶ 切換コックにセットされている取りつけリングをはずします。

❷ ビス止め用固定リングのネジをはずします。

❸ 取りつけリングにビス止め用固定リングを入れます。ゴムパッキンもビス止め用固定リングと共にセットしてください。

❹ ビス止め用固定リングのネジ(4本)をはずれない程度に仮止めします。

❺ これを切換コックにセットし、取りつけリングをかるく回します。

2 蛇口にビス止め用固定リングをはめ、下から切換コック本体を押しつけるように支えます。このときゴムパッキン部分と蛇口先端が接するようにしながら、ネジを4ヶ所締めつけてください。蛇口がビス止め用固定リングの中心になるように固定ネジを均等に締めつけます。

※ネジを強く締めつけすぎると、蛇口を傷める恐れがありますので、ご注意ください。

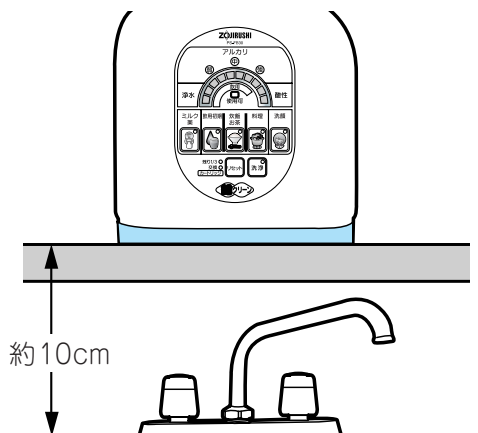
3 取りつけリングを回してしっかり固定します。このとき、ホース取りつけ口が図のように、蛇口の後方にくるように固定してください。

4 切換レバーを「原水」にし、蛇口を開けて水を流します。水を流したとき、取りつけリング部分からもれるようでしたら、もう一度、固定ネジと取りつけリングをゆるめて、最初から固定しなおしてください。

# 2 原水ホースと本体を設置し差込みプラグをコンセントに差し込む

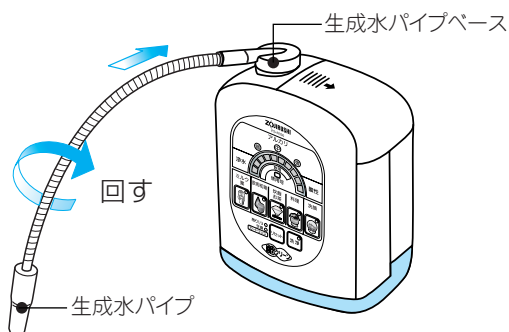
## 1 設置場所を決める

- 平らで安定した場所に置いてください。
- カートリッジ交換の際に水抜き穴から水が出ますので設置場所には十分にご注意ください。
- 熱いもののそばに設置しないでください。（特に、温水蛇口付近には注意してください。）
- 本体は直接水のかかる場所（流し台の中など）や特に湿気の多い場所（浴室など）に設置しないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿気、ほこりの多いところ、火気の近くでの使用や放置はしないでください。
- 油が付着するところには設置しないでください。
- 凍結の可能性があるところには設置しないでください。
- 湯専用の蛇口には接続しないでください。故障の原因になります。
- 本体は、原水ホース･排水ホースの届く範囲で設置してください。ホースは延長できません。またホースが折れ曲がったり、ねじれたりしないようにしてください。水もれなど故障の原因になります。
- 本体を、蛇口より低い位置、または蛇口より約10cm以上の高さに設置した場合、極端に水の出方が悪くなったり、目やすのpH値のイオン水を生成できないことがあります。

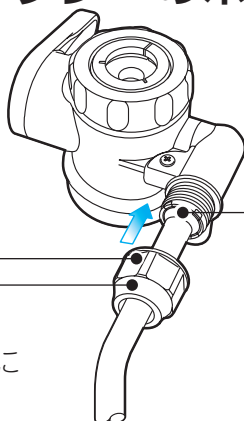
**設置例**

- 本体は、蛇口より下には設置しないでください。
- 本体は、蛇口より約10cm以内の高さを目やすに設置してください。

※10cm以内の高さに設置しても、最低使用可能水圧（0.07MPa）未満のご家庭ではイオン水を生成できません。

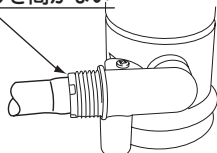
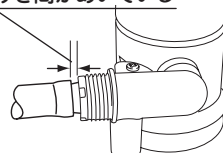
## 2 生成水パイプを取りつける

- 生成水パイプを生成水パイプベースに押しつけながら右にまわします。接続部のすき間がなくなるまでしっかり締めつけてください。
  （工具は使わないでください。破損の原因になります。）

# 2 原水ホースと本体を設置し差込みプラグをコンセントに差し込む つづき

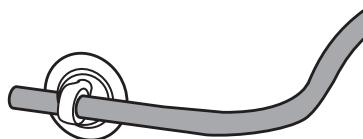
## 3 原水ホース（薄いグレーのホース）を接続する

❶ホース接続ナットを切換コックからはずし、原水ホース（薄いグレーのホース）に通す。

❷原水ホースを奥まで確実に差し込む。

❸ホース接続ナットで確実に締めつける。
●工具を使わないでください。
（ホース接続ナットの破損の原因になります。）

| 良い例 | 悪い例 |
| --- | --- |
|   |   |

**お知らせ** ●ホースが長すぎる場合は、ホースを切って使用することをおすすめします。
（切るときはまっすぐ切ってください。）

## 4 排水ホース（濃いグレーのホース）を吸盤で固定する

●排水ホース固定用吸盤に排水ホースを通し、ホースが折れ曲がらないように固定します。
●排水ホースの先端は必ず本体底面より下になるようにしてください。

## 5 コンセントに差込みプラグを確実に差し込む

●「モード」ランプは「飲用初期」が点灯します。

**お願い** ●通常は差込みプラグを抜かないでください。

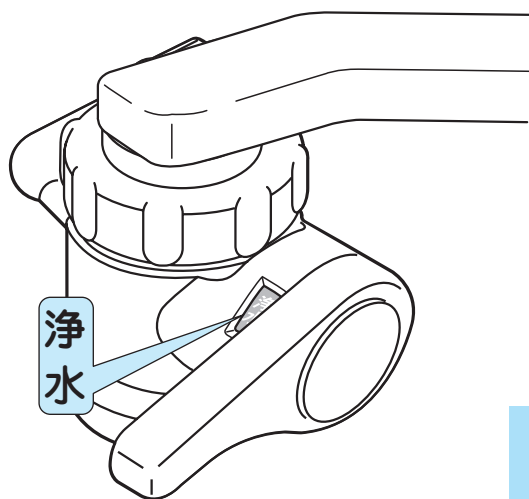
**ご注意** ●差込みプラグのコンセントの抜き差しや、ボタン操作はぬれた手で行わないでください。

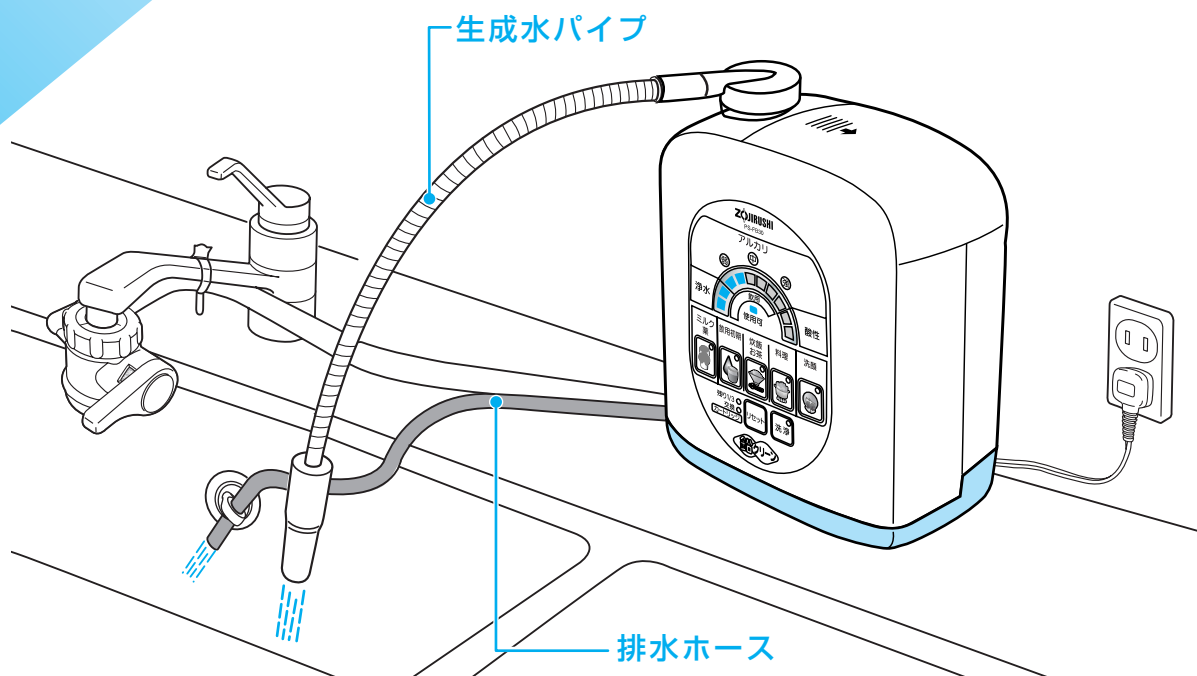
## 3 本体の空気抜きのため約2分間通水する

●切換レバーを「浄水」にします。

●初めてお使いになるときは、蛇口を開け、パネル表示に「使用可」ランプが点灯するまで約2分間通水します。
（最初小さな気泡が出ますが異常ではありません。）

**ご注意**

本体には35℃以上の温・熱水を通さないでください。
故障の原因になります。



## 4 生成水パイプ、排水ホースから水が出ていることを確認する

●各操作ボタンが正常に動くか確認してください。

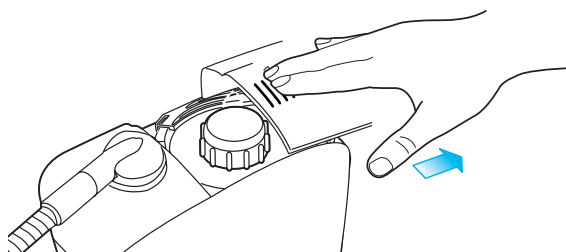
# 5 カルシウムを添加する

## カルシウムの入れ方

カルシウムは電気分解を促進するために使用します。（カルシウムの摂取を目的としたものではありません。）添加は必ず水道の蛇口を閉めてから行ってください。
（カルシウムとは、指定のグリセロリン酸カルシウムのことです。）

### 1 蛇口を閉める

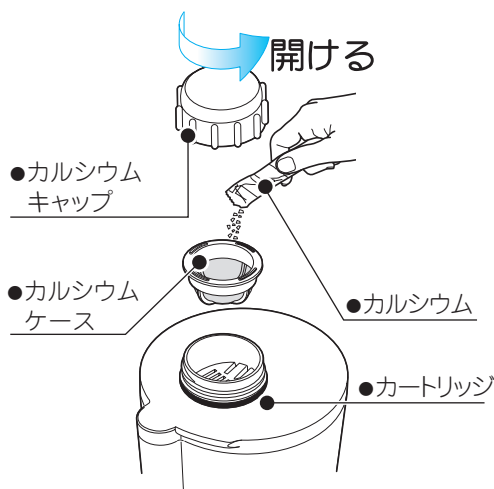
### 2 トップカバーをはずす

矢印の方向にスライドさせてください。

### 3 カルシウムキャップを開ける

矢印の方向に回してください。

### 4 カルシウム1袋（3g）を入れる

袋をハサミで切り、カルシウムケース（ネット状）にこぼれないようにゆっくりと直接入れてください。

※2袋以上入れないでください。カルシウムが溶けにくくなります。

### 5 カルシウムキャップを元どおり取りつけ、トップカバーを閉める

矢印と逆方向に回して取りつけます。

（カルシウムキャップをはずしたまま通水すると水があふれ出ますのでご注意ください。）

※指定のカルシウム（グリセロリン酸カルシウム）以外のものは添加しないでください。

※ときどき（2週間に1度）点検し、カルシウムがなくなっている場合は、補充してください。

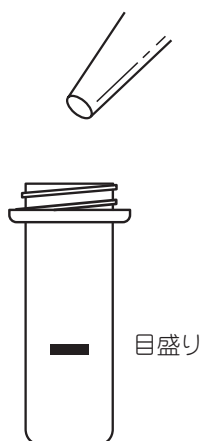
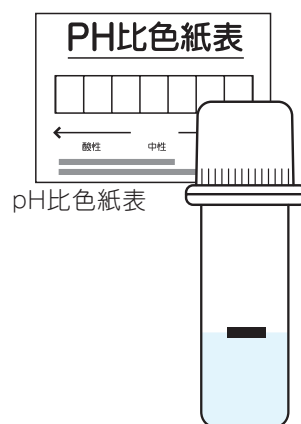
※補充の際にカルシウムケースにカルシウムが残っている場合はきれいに取り除いてください。カルシウムがどろっとした状態で残っている場合は、水を掛けながら、はしなどを使って取り除いてください。
その際、カルシウムケースの網を破らないように注意してください。

※長期間（約10日以上）使用しないときは、残っているカルシウムをきれいに取り除いてください。

※カルシウムの溶け具合は、水質・水温・水量により変化します。

# 6 pH値を測定する

## pH 値 の 測 り 方

**地域・水質によっては、pH10以上のアルカリイオン水が生成されることもあります。pH10を超えたアルカリイオン水を常時飲用しないために、設置後は必ずpH値を測ってください。安定したpH値を測るため、イオン水は「使用可」ランプが点灯して10秒以上流してから専用容器に取ってください。**

【pH値が10を超える測定結果が出た場合】
pH値の低いモード選択ボタンを選ぶか（10ページ参照）、電解促進モードでお使いの場合は水量を増やして（23ページ参照）pH値が10を超えていないことを確認してからお使いください。

※pH値の測定は水をくんだ直後に行い、時間が経過してからの測定は避けてください。

※時間が経過すると試験水の色が変化します。pH測定液を入れたらすぐにpH比色紙表と比較してください。

※pH比色紙表は光により色あせすることがありますので、専用容器、pH測定液と共に袋に入れ、容器、箱、冷暗所など、光をさえぎるものの中で保管してください。

※通常水道水（原水）はpH7前後の中性ですので、電気分解を行わない浄水も中性です。ただし、地域や季節によっては中性（pH7）ではない場合もあります。

※pH値の測定に使用したイオン水は飲まないでください。

※pH測定液は目に入れたり、飲んだりしないでください。万一、目に入った場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

※pH測定液は、必ずふたを閉めて幼児の手の届かない冷暗所に保管してください。

※pH測定液はアルコール類が含まれておりますので火気に近づけないでください。

# 6 pH値を測定する つづき

## アルカリイオン水のpH値が低い

井戸水などをご利用の地域や原水中に遊離炭酸（水中に溶けている炭酸ガス。水源に地下水を含んでいる水道水に多い。）を多く含んでいる場合は、アルカリイオン水のpH値が目やすに対して低くなることがあります。
この場合は次の「電解促進モード」でpH値を調整してご使用ください。

※調整できるモードは右記の通りです。

| 選択モード | 生成水 | pH値の調整 | 水量をしぼる | 水量を増やす |
|---|---|---|---|---|
| 料理 | アルカリ 強 | できます | pH上がる | pH下がる |
| 炊飯・お茶 | アルカリ 中 | できます | pH上がる | pH下がる |
| 飲用初期 | アルカリ 弱 | できます | pH上がる | pH下がる |
| ミルク・薬 | 浄 水 | できません | —— | —— |
| 洗顔 | 酸 性 | できます | pH下がる | pH上がる |
| | 排水ホースから出る水 | できません | —— | —— |

### 電解促進モード

**1** モード選択ボタンの「料理」を蛇口を閉じた状態（通水しない状態）で2秒以上押す。

**2** 「ピッピッ」と2回ブザーが鳴ります。
これで「電解促進モード」に切りかわります。
「料理」ランプが点灯します。

**3** 一度「電解促進モード」に切りかえると、その後は、蛇口の開き具合で水量を調節する（水量をしぼる）ことによって高いpH値のアルカリイオン水（低いpH値の酸性水）を得ることができます。pH測定液で確認しながら、お好みのpH値になるように水量を調節してください。

※差込みプラグをコンセントから抜き、再び差し込むと、「電解促進モード」は解除されます。
※「電解促進モード」に切りかえた後、飲用初期や炊飯、お茶を選んでも、蛇口の開き具合を調整し、水量をしぼることによって以前より高いpH値のアルカリイオン水を得ることができます。
※pH10を超えたアルカリイオン水は飲まないでください。